

「損保ジャパン笑顔届け隊！」が岩手県釜石市で人形劇を公演

株式会社損害保険ジャパン（社長 櫻田謙悟、以下「損保ジャパン」）は、NPO愛知人形劇センターと連携して、8月30日（金）、31日（土）に岩手県釜石市にて人形劇の公演を実施し、子どもたちや保護者の皆さまを中心に約170人にご来場いただきました。

当日は、『ジョンとマーブルばあちゃん』『モアイくん』の人形劇を公演したほか、来場された方々に全国の社員ボランティアが作成した手作りプレゼントやメッセージカードをお渡ししました。

1. 公演日 2013年8月30日（金）、31日（土）

2. 場 所 「長内集会所」（岩手県釜石市鶴住居町）
「甲子子育て支援センター」（岩手県釜石市甲子町）
「釜石市立第一幼稚園」（岩手県釜石市天神町）
「小佐野コミュニティ会館」（岩手県釜石市小佐野町）

3. 開催経緯

損保ジャパンは、愛知県名古屋市に人形劇専用劇場「ひまわりホール」を所有しており、劇場の運営団体であるNPO愛知人形劇センターとともに地域貢献活動に取り組んでいます。東日本大震災の発生を受け、「損保ジャパン笑顔届け隊！」を結成し、2012年3月から計3回にわたって、仮設住宅に居住されている方々向けに釜石市で人形劇を継続的に実施してきました。

人形劇や舞台劇の公演を通じて地域の皆さんが集まるきっかけとなり、会場いっぱい子どもたちの笑い声が広がればとの思いから、上記日程でNPO愛知人形劇センターおよび「ひまわりホール」で活動する「人形劇団とんかち[※]」と連携し、釜石市で人形劇の公演を行いました。

※人形劇団とんかち：愛知県西三河の幼稚園・保育園などでお芝居をしている一人芝居人形劇団です。

4. 活動内容

公演当日は、子どもたちや保護者の皆さまを中心に約170人の方に参加いただき、「人形劇団とんかち」の人形劇を楽しんでいただきました。

保護者や関係者の皆さまからは、「子どもたちが吸い込まれるように集中して見ていたのが印象的でした。普段このような機会がないのでとても楽しく見せていただきました。」
「鶴住居では、なかなか遊ばせる場所がないので助かります。」などの感想をいただきました。

また、全国の社員ボランティアが作成した手作りのプレゼント（自宅や室内でも遊べるフェルト布ボール）やメッセージカードもお渡ししました。日本興亜損害保険株式会社の社員も社員ボランティアとして参加しました。

5. 今後について

損保ジャパンは、今後も被災地のニーズにあわせた復興支援活動を行っていきます。

【当日の様子】



【社員ボランティアによる手作りプレゼントとメッセージカード】



【釜石市立第一幼稚園での公演の様子】



【釜石市立第一幼稚園の園児からのプレゼント】

以 上